

「平成 30 年度市内循環バス『ところバス』路線等の見直し（案）」 に対するご意見と市の考え方について

「平成 30 年度市内循環バス『ところバス』路線等の見直し（案）」について、皆様からお寄せいただいたご意見の内容と、それに対する市の考え方について公表いたします。

ご意見をいただきました皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

平成 30 年 1 月 26 日
所沢市市民部交通安全課
T E L 04-2998-9140
F A X 04-2998-9167
E-mail a9140@city.tokorozawa.lg.jp

【意見募集の概要】

- 1 募集期間 平成 29 年 12 月 1 日（金）～平成 29 年 12 月 15 日（金）
- 2 受付方法 直接持参、郵送、FAX、電子メール、電子申請のいずれか

【募集結果】

- 1 人数 16 名
- 2 件数 34 件
- 3 意見の内訳
 - 本見直し（案）について 7 件（21%）
 - 増便・経路について 19 件（56%）
 - 答申について 4 件（12%）
 - 「ところバス」全般について 4 件（12%）

「平成30年度市内循環バス『ところバス』路線等の見直し(案)」への意見と市の考え方

(意見人数:16名、意見件数:34件)

(意見募集期間:平成29年12月1日～12月15日)

No.	項目	意見	市の考え方
1	見直し(案)①	下新井新道～カルチャーパーク間の路線変更は長年の願いがかない嬉しいです。	この見直し(案)につきましては、所沢聖地霊園周辺(学園通り)の渋滞を回避して、定時性を確保する等の効果があると考えております。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。
2	見直し(案)①	黄色延伸部(航空公園駅発の場合)のあと、坂を上っていく中富南行きも必要ではないでしょうか？5-6-7-新-39 黄色の中にバス停がいくつになるかわかりませんが、若松町を通り、中富南-エステ(路線)以外である中富南39→武野原38→道傍37は残していただきたいです。(いわゆる航空公園駅から武野原公園への近い方のコース)	見直し(案)につきましては、左回りでお示しましたが、右回りにつきましては、いただいたご意見のコースと同じものになります。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。
3	見直し(案)③	所沢駅東口～保健センターまでの廃止に反対します。 現在、茨原前から山口公民館までを利用しています。廃止されると所沢駅西口からの利用になり不便になります。	「所沢駅東口」～「茨原前」の各停留所の廃止につきましては、見直しの経緯のとおり、乗降量調査の結果、「北秋津」「北秋津小学校」「茨原前」各停留所の乗降がほとんどないことから、見直し(案)に採用しております。 大変ご不便をおかけいたしますが、路線バスのご利用をお願いいたします。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。
4	見直し(案)③	吾妻循環の、所沢駅東口、北秋津、北秋津小学校、茨原前の停留所の廃止が提案されています。 しかし、西武バスの運行本数も少なく、高齢者など交通弱者にとって、ところバスに期待している方が多くおられる地域でもあります。 デマンドタクシーなど、交通弱者対策を優先し、その条件が整った上でこの路線の見直し検討がすすめられるべきだと考えます。 この地域のバス路線廃止は、公共施設とのアクセスそのものをなくしてしまうことにつながることから、ところバスの見直し案にある路線廃止は、市民生活への影響が大きいものです。 諸条件が整わない現状の中で、この路線を廃止することには反対です。	「所沢駅東口」～「茨原前」の各停留所の廃止につきましては、見直しの経緯のとおり、乗降量調査の結果、「北秋津」「北秋津小学校」「茨原前」各停留所の乗降がほとんどないことから、見直し(案)に採用しております。 大変ご不便をおかけいたしますが、路線バスのご利用をお願いいたします。 なお、ご提案いただいたデマンドタクシー等の導入につきましては、今後、中長期的な見直しの際の参考とさせていただきます。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

「平成30年度市内循環バス『ところバス』路線等の見直し(案)」への意見と市の考え方

(意見人数:16名、意見件数:34件)

(意見募集期間:平成29年12月1日～12月15日)

No.	項目	意見	市の考え方
5	見直し(案)③	<p>新案ですと、保健センター止まり・起点となっていますが、現行の右回りを見ると、終点から出発迄には時間があり、回送車となっていると思われま</p> <p>す。</p> <p>すぐに折り返しをしない便に限り、東新井、航空公園南経由・航空公園駅行きか、こぶし町西経由、西武バス所沢営業所行き等、給油所、休憩所等の付近迄延伸して、なるべく回送が少なくなる工夫をしていただきたいです。</p>	<p>ダイヤの作成につきましては、国の基準による運転手の休憩時間を考慮して、運行事業者と協議の上、できる限り効率の良いバス運用を行っております。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>
6	見直し(案)③	<p>所沢駅東口～保健センター間の廃止について、この区間を廃止してしまうのは、北秋津周辺住民への行政サービスの一環としてはいかがなものでしょうか。北秋津住民の交通弱者の足が無くなり、若しくは、選択肢が減り、他の地域の住民との間のサービス格差が開くでしょう。この区間は、時間調整や便数の変更を検討するに留めていただきたいです。</p>	<p>「所沢駅東口」～「茨原前」の各停留所の廃止につきましては、見直しの経緯のとおり、乗降量調査の結果、「北秋津」「北秋津小学校」「茨原前」各停留所の乗降がほとんどないことから、見直し(案)に採用しております。</p> <p>大変ご不便をおかけいたしますが、路線バスのご利用をお願いいたします。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>
7	見直し(案)④	<p>「北所沢町」停留所はコモディイダに行くのに便利であるため、現在ある停留所(北所沢町)の廃止はなしにして、</p> <p>右回り(初め略)</p> <p>バス停No.(現行の物)7-36-35・・・8-36-黄色の延伸部・・・航空公園駅</p> <p>左回り(初め略)</p> <p>バス停No.3-黄色の延伸部-新所沢駅西口-36-8-9-10・・・35-36-7-6・・・1</p> <p>こどもと福祉の未来館を通すのはそのままとし、定時性については余裕を持ったダイヤにすることで、都バス同様早く着いたら少し止まっているようにしてはいかがでしょうか？</p>	<p>見直し(案)④につきましては、川越所沢線と西武新宿線が交差する踏切(新所沢第1号踏切)の渋滞を回避し、定時性を確保するためのものです。ご意見の経路にした場合、また、「北所沢町」停留所を残した場合、路線がさらに長くなり、定時性の確保が難しくなることから、実現は難しいと考えます。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>
8	増便	<p>途中下車した場合の次のバスまでの長い時間を議員諸氏に”ところバス全路線”の実車を義務付け必ず途中下車をし、他交通機関は使用しない条件をつけて実車してほしい。</p>	<p>今回の見直しの中で実施は難しい状況でございます。今後、見直しの際の参考とさせていただきます。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>

「平成30年度市内循環バス『ところバス』路線等の見直し(案)」への意見と市の考え方

(意見人数:16名、意見件数:34件)

(意見募集期間:平成29年12月1日～12月15日)

No.	項目	意見	市の考え方
9	増便	<p>現状は最低限の運行本数であり、本数が減らされると大変困ります。柳瀬循環コース左回りに、8時ごろの運行があると、本当に助かりますので、追加をお願いしたい。</p> <p>現状は、車の運転が出来ていますが、出来るだけ運転は控えるようにしてきており、免許返納もそう遠くはありません。その場合は、ところバスで「活動の範囲」が制約されることとなりますので、運行が減少や無くなることは考えられません。何とか、知恵を出し合い継続をお願いします。</p>	<p>資料にも示しましたとおり、今回は定例的(およそ5年に1度)な見直しであり、現行の路線や時刻を、利用者の意向を踏まえながら、利用実態に応じて変更することが主な趣旨でございます。</p> <p>現在、「ところバス」は運行管理者に約1億2千万円以上の運行補償料を支払い運行しており、加えて増便となりますと、現行のバス台数や運転手の人数では実施できず、新規車両の購入や運転手の確保等が必要となり、市の財政負担が大きくなることから、今回の見直しの中での実施は難しい状況でございます。</p> <p>しかしながら、便数や大規模なバス路線の経路の変更の必要性は「所沢市地域公共交通会議」の答申の中でも求められておりますことから、今後、中長期的な見直しの際の参考とさせていただきます。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>
10	増便	<p>松井循環コースですが、昼時間一時間に一本もなく、行きに利用したら、帰りの時間がなく、行きも帰りも使えない状態です。高齢で使いたいが、使わずらく乗車人数も多いので、何とか2時位の便をひとつ増やして頂けたら嬉しいです。</p>	<p>No.9と同様となります。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>
11	増便	<p>吾妻循環コースの増便を要望します。</p>	<p>No.9と同様となります。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>
12	増便	<p>今回の見直し案は路線変更と時刻変更のみの見直し案だけになったのは残念です。</p> <p>どこの路線の利用が多いかなど調査して増便を検討してください。</p> <p>東路線(松井循環コース)は現在往復5便運行されているが、現在は2時間～2時間30分なので、2時間に1回にすると1日6便になりより利用者が増えると思う。今回も増便も考えてください。</p>	<p>No.9と同様となります。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>

「平成30年度市内循環バス『ところバス』路線等の見直し(案)」への意見と市の考え方

(意見人数:16名、意見件数:34件)

(意見募集期間:平成29年12月1日～12月15日)

No.	項目	意見	市の考え方
13	増便	<p>所沢は、バスの路線が市内に網羅されていないうえ、本数が少ないです。それゆえ、利用が限定され、結果、バス以外の交通手段を選ばざるをえません。</p> <p>お年寄りはもちろん子連れの我々も住みづらい街だなと思ってしまいました。子どもたちにも暮らしやすい所沢になるように、バスの本数の増加はお願いしたいです。それができると、私のような現状車を使っているけどバスの利用に変えるというような人も出てくるのではないかと思います。</p>	<p>No.9と同様となります。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>
14	増便	<p>84歳ひとり暮らしの老女です。</p> <p>今度、東路線松井循環コース増便の願いを見送る事、非常に残念でなりません。</p> <p>ボケ防止と健康維持のため、又生きがいである趣味で毎週午前の便を利用しています。満席で立つ時もしばしばです。又、帰りは利用出来る時間がなく、タクシー1,360円で帰りますが生きるための投資と思って涙をのんでいます(東所沢駅からこぶし中央迄)。</p> <p>介護認定も受けずに頑張っている人達を応援して下さい。</p> <p>利用者も多く皆願っている増便をぜひ実現させて下さい。お願いします。</p>	<p>No.9と同様となります。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>
15	増便	<p>今後、ところバスは買い物や通院のための高齢者の足となることが期待される。そのためには、運行間隔を10時から15時は、せめて1時間に一本はほしい。</p>	<p>No.9と同様となります。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>
16	増便	<p>今回の見直し(案)の根拠の一つとして「市民要望の件数」が挙げられているが、最も要望の多かった「増便」については全く無視されており、その理由も述べられていないのは納得できない。</p> <p>考えられる理由は、費用対効果を重視していると推測されるが、このような公共交通施策については社会保障制度の一環として考えるべきものであり、営利目的とは明確に区別すべきであると考えます。</p>	<p>No.9と同様となります。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>

「平成30年度市内循環バス『ところバス』路線等の見直し(案)」への意見と市の考え方

(意見人数:16名、意見件数:34件)

(意見募集期間:平成29年12月1日～12月15日)

No.	項目	意見	市の考え方
17	経路	うしぬま荘入口に停留所を作って頂きたい、そこに行く高齢者の為にも、宜しくお願い致します。	うしぬま荘入口に停留所を新設することにつきましては、うしぬま荘周辺道路がバスの運行に必要な幅員を満たしていないことから、バスの運行は困難と考えておりますが、今後、中長期的な見直しの際の参考とさせていただきます。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。
18	経路	現在、美原町五丁目から右折して、花園二丁目になるが、近いため、むしろ岩岡や花園地区の人は高齢化していることもあり、ラーク所沢に停留所を設置して頂ければ、大変便利である。 この施設は老若男女が利用しており、新所沢駅にも近いので要望が多く、変更をお願いしたい。 なお、花園二丁目は車が多く通っており、前の停留所より近すぎており、車イス等の上は難しいが、ラーク所沢ならば対応できる。	ラーク所沢に停留所を新設することにつきましては、ラーク所沢周辺道路がバスの運行に必要な幅員を満たしていないことから、バスの運行は困難と考えておりますが、今後、中長期的な見直しの際の参考とさせていただきます。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。
19	経路	柳瀬循環コース右回り、左回りがあるのですが、前回の運行見直しで路線合併があり、左回りでは、航空公園駅まで60分かかる様になり、長すぎてトイレの心配も含め、実際には使うことが不可能です。 路線の見直しを是非ともお願いします。 カドカワの「サクラタウン」完成時には、航空公園駅～カルチャーパーク～サクラタウン～東所沢駅の路線(普通バスでも可)を、是非とも運行して欲しいです。	資料にも示しましたとおり、今回は定例的(およそ5年に1度)な見直しであり、現行の路線や時刻を、利用者の意向を踏まえながら、利用実態に応じて変更することが主な趣旨でございます。 経路の変更につきましては、定時性の維持やバスの通行が可能な道路施設であるかの調査・確認、また関係地域やそこにお住まいの方々等との時間をかけた調整が必要であることから、今回の見直しの中で実施は難しい状況でございます。 しかしながら、便数や大規模なバス路線の経路の変更の必要性は「所沢市地域公共交通会議」の答申の中でも求められておりますことから、今後、中長期的な見直しの際の参考とさせていただきます。 また、「ところざわサクラタウン」へのアクセスにつきましては、今後関係部署との協議の際の参考とさせていただきます。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

「平成30年度市内循環バス『ところバス』路線等の見直し(案)」への意見と市の考え方

(意見人数:16名、意見件数:34件)

(意見募集期間:平成29年12月1日～12月15日)

No.	項目	意見	市の考え方
20	経路	<p>現在の停留所はほぼ500m程度の間隔で設置されているが、高齢者には停留所まで歩くのも一仕事であり、停留所の間隔はもう少し短くできないか、検討してもらいたい。(渋滞発生のもととならない範囲で)</p>	<p>資料にも示しましたとおり、今回は定例的(およそ5年に1度)な見直しであり、現行の路線や時刻を、利用者の意向を踏まえながら、利用実態に応じて変更することが主な趣旨でございます。</p> <p>停留所の設置間隔を短くすることにつきましては、利用者の利便性が上がることも考えられますが、一方で停留所の数が増えることで所要時間が延長となり、減便もしくは運行補償料の増加に繋がることから、今回の見直しの中で実施は難しい状況でございます。</p> <p>しかしながら、便数や大規模なバス路線の経路の変更の必要性は「所沢市地域公共交通会議」の答申の中でも求められておりますことから、今後、中長期的な見直しの際の参考とさせていただきます。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>
21	経路	<p>現在、金山町二丁目の停留所から徒歩で瀬戸病院に行っている人は、乳幼児や高齢者も徒歩で向かっているが、病院前に変更してもらえると、安全・安心して通院が出来る。</p> <p>この道路は日常でも混んでおり、車の通行量も多いので、乳幼児をかかえた人や高齢者にとって、安全・安心のためにも大変ありがたくなるので、変更をお願いしたい。</p>	<p>資料にも示しましたとおり、今回は定例的(およそ5年に1度)な見直しであり、現行の路線や時刻を、利用者の意向を踏まえながら、利用実態に応じて変更することが主な趣旨でございます。</p> <p>経路の変更につきましては、定時性の維持やバスの通行が可能な道路施設であるかの調査・確認、また関係地域やそこにお住まいの方々等との時間をかけた調整が必要であることから、今回の見直しの中で実施は難しい状況でございます。</p> <p>しかしながら、便数や大規模なバス路線の経路の変更の必要性は「所沢市地域公共交通会議」の答申の中でも求められておりますことから、今後、中長期的な見直しの際の参考とさせていただきます。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>

「平成30年度市内循環バス『ところバス』路線等の見直し(案)」への意見と市の考え方

(意見人数:16名、意見件数:34件)

(意見募集期間:平成29年12月1日～12月15日)

No.	項目	意見	市の考え方
22	経路	<p>南路線(山口循環・吾妻循環)については重複する経路も多く、空席も目立っているため、山口循環・吾妻循環の2系統を統合し、中心市街地循環系統を新設することを提案させていただきたいと思えます。</p> <p>提案させていただきたい中心市街地循環系統は、所沢駅西口→金山町二丁目→(金山町交差点)→瀬戸病院前付近→所沢高校入口交差点付近→南小学校入口交差点付近→(東住吉交差点)→東住吉→所沢駅西口の片方向で、所要時間は約10分から15分と思われます。これを昼間の時間帯に20分間隔で走らせれば、中心市街地の活性化や中心市街地にお住いの高齢者の交通手段の確保、瀬戸病院に向かう妊婦さんの交通手段の確保、朝の時間帯にも走らせれば所沢高校への通学生の交通手段にもなり、またコンパクトシティの観点からも必要不可欠と思われます。</p> <p>例えば、5月に行われるタワー祭りなどの日に社会実験として、試験運行し、実際の利用者数を把握してみても良いのではないのでしょうか。</p> <p>西路線(新所沢・三ヶ島循環)については、前回の見直しで旧新所沢循環が5便→4便、旧三ヶ島循環が3便→4便になったかと思われませんが、再分離し元の本数に戻す形が効率化につながるものと思われま。</p>	<p>No.21と同様となります。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>
23	経路	<p>現在の路線(コース)は市役所(航空公園駅)を起点、終点とするものが多いが、市役所やミュージアムに頻繁に行く人は別として、日常的には各地域のまちづくりセンター(出張所、公民館)で用を足せる場合が多く、まちづくりセンターをバスの起点、終点にしてもらいたい。</p>	<p>No.21と同様となります。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>
24	経路	<p>三ヶ島地区、なかでも糎谷にはコンビニも遠く、スーパーもない。免許証を返納したが、買い物に困っている住人がおり、今後増加することは必至である。三ヶ島循環の立ち寄り先(バス停留所)に食品スーパー(例えばいなげや)やホームセンターのある所を加えることを要望したい。</p>	<p>No.21と同様となります。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>
25	経路	<p>東路線柳瀬循環のうち、東所沢～本郷～坂之下～地方卸売市場間のコースを新設し、何便かを増便または既存の便からの振り分けによって市東部のコースが存在していない地域へのサービス向上に努めていただきたいです。</p>	<p>No.21と同様となります。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>

「平成30年度市内循環バス『ところバス』路線等の見直し(案)」への意見と市の考え方

(意見人数:16名、意見件数:34件)

(意見募集期間:平成29年12月1日～12月15日)

No.	項目	意見	市の考え方
26	増便・経路	<p>私が事務局を務める組合では、全組合員を対象にアンケートを行いました。その結果、回答のあった人の半数以上の100名を超える方から、「運行便数を増やしてほしい」「目的地まで時間がかかりすぎるのでコースの見直しをして欲しい」という切実な要望が寄せられました。</p> <p>答申を受けて出された今回の見直し案では、残念ながら、市民の最大の要望かつ最大の課題であったはずの「増便とコースの短縮」が盛り込まれませんでした。</p> <p>ぜひ、利用者の立場に立った見直しをして欲しいと切に願います。</p> <p>もう一点、昨今高齢者の運転免許が大きな社会問題になっています。ところバスは、運転できない高齢者にとってはとても重要な交通手段です。運転免許証の返納を呼びかけるのであれば、それに代わる交通手段の充実を図るのが当然ではないでしょうか。</p> <p>黒字経営が最優先されれば、高齢者は切り捨てられてしまいます。便数を増やせば利便性は増し、利用者は増えます。</p> <p>ぜひ、おおくの市民の切実な願いを受け止めていただきたいとお願い申し上げます。</p>	<p>資料にも示しましたとおり、今回は定例的(およそ5年に1度)な見直しであり、現行の路線や時刻を、利用者の意向を踏まえながら、利用実態に応じて変更することが主な趣旨でございます。</p> <p>現在、「ところバス」は運行管理者に約1億2千万円以上の運行補償料を支払い運行しており、加えて増便となりますと、現行のバス台数や運転手の人数では実施できず、新規車両の購入や運転手の確保等が必要となり、市の財政負担が大きくなることから、今回の見直しの中での実施は難しい状況でございます。</p> <p>また、経路の変更につきましては、定時性の維持やバスの通行が可能な道路施設であるかの調査・確認、また関係地域やそこにお住まいの方々等との時間をかけた調整が必要であることから、今回の見直しの中で実施は難しい状況でございます。</p> <p>しかしながら、高齢者等の支援という側面もあり、便数や大規模なバス路線の経路の変更の必要性は「所沢市地域公共交通会議」の答申の中でも求められておりますことから、今後、中長期的な見直しの際の参考とさせていただきます。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>
27	答申	<p>答申にも触れられていますが、今後の抜本の見直しを期待します。</p> <p>現在ところバスは、「運行便数が少ない」「路線が長すぎ時間がかかる」「交通困難地域と最寄り駅をつなぐなどの路線の配慮が不十分」「交通弱者に対する所沢市の公共交通対策が不十分な中でところバスしか施策がない」など、大変利用しにくく、問題が山積している現状があります。</p> <p>市民の足として有効に活用するために抜本的な検討を求めます。</p> <p>利益率優先のみの視点ではなく、交通弱者に対する交通権保障の課題に十分配慮した地域公共交通のあるべき姿・全体像の検討をすすめた上で、ところバスのあり方が検討されるべきだと考えます。</p>	<p>ご指摘の通り、現在の「ところバス」には多くの課題がある旨が「所沢市地域公共交通会議」の答申の中でも提言されていることから、今後、中長期的な見直しの際の参考とさせていただきます。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>

「平成30年度市内循環バス『ところバス』路線等の見直し(案)」への意見と市の考え方

(意見人数:16名、意見件数:34件)

(意見募集期間:平成29年12月1日～12月15日)

No.	項目	意見	市の考え方
28	答申5(2)	ワゴンタイプを入れる場合の費用(運賃ではありません)を聞いた事がない気がします。1台いくらくらいかかるのでしょうか?(ちなみに不要派ではありませんが)	ワゴン車の導入につきましては、費用の算定はしておりませんが、今後、中長期的な見直しの際の参考とさせていただきます。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。
29	答申	<p>今回の「見直し案」に至る「経緯」をみても、いまの「ところバス」が、「循環バス」としての使命を果たせない矛盾の塊になっているのに、抜本的見直しが先送りされているのは遺憾です。早急に抜本的見直しにとりかかって下さい。</p> <p>1)三年計画くらいで抜本的見直し案をつくる。 2)1年目は、市民の意見・意向を集め、「草案」をつくる。地域別・年代別(公共交通へのかかわり方が違うため)に、できるだけ多くの標本を集める。「草案」の作成は、庁内横断的に、総務部長あるいは総合計画部長を事務局長に対策室を作る。 3)2年目は、「草案」を資料とし、行政区ごとに住民説明会を行い、抜本的見直しの意味を説明する。三ヶ島地区や、柳瀬、富岡などは「循環バス」の機能の方が重視されるかも知れないので、ディスカッション・コミュニケーションを繰り返し行う。 4)3年目は、行政区で出された諸意見で、「草案」をブラッシュアップし、「交通会議」に諮問する。「交通会議」の答申を受けて、「原案」をつくり、パブリックコメントを実施する。 以上です。</p>	今後、中長期的な見直しの際の参考とさせていただきます。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。
30	答申	「地域公共交通会議」の答申にある冒頭部分の「持続可能な」というはやり言葉のような記述が、もし損失を出さないということを意味しているならば、この答申の精神の受け入れは拒否すべきである。	No.29と同様となります。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

「平成30年度市内循環バス『ところバス』路線等の見直し(案)」への意見と市の考え方

(意見人数:16名、意見件数:34件)

(意見募集期間:平成29年12月1日～12月15日)

No.	項目	意見	市の考え方
31	全般	『運行について』の諮問が多いですが、「利用者を増やす」「利用者の利便性を追求する」観点が見え落している施策と思います。 自治体の運行によるバスで、公共交通機関過疎地へ運行する主旨はおおいに賛成できますが、地域住民だけでなく、その地域おこし観点で、幅広い市民に乗りいただく施策が必要です。	利用者の利便性の確保につきましては、「所沢市地域公共交通会議」の答申の中でも課題と捉えていることから、今後、中長期的な見直しの際の参考とさせていただきます。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。
32	全般	バスの場所や遅延状況がわかるようなアプリの導入をご検討ください。	バスの現在位置がわかる、アプリケーションシステムにつきましては、平成28年度に「ところバス」へ運用の実証実験を行いました。その結果、費用・運用面に課題があることから、「ところバス」への導入は見送りとさせていただいた経緯がございます。今後につきましては、利用者の皆様の利便性向上に向け、様々な手法について検討を進めてまいります。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。
33	全般	乗り放題券の値段がもう少し安価ならば多少我慢できると思います。値下げはムリでしょうか？ところバスの年間定期券を売って無料で乗れる様に出ませんか？	「ところバス」の一日乗車券の値下げ及び年間定期券の作成につきましては、現在、「ところバス」は運行管理者に約1億2千万円以上の運行補償料を支払い運行しており、市の財政負担が大きくなることから、今回の見直しの中での実施は難しい状況でございます。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。
34	全般	地域の足として「ところバス」の運行に関しては、各地域の「まちづくり協議会」でも運行頻度、バス停の配置等を検討させてはどうか。	「所沢市地域公共交通会議」の答申の中でも、「地域住民との協働」が提言されていることから、今後、中長期的な見直しの際の参考とさせていただきます。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。